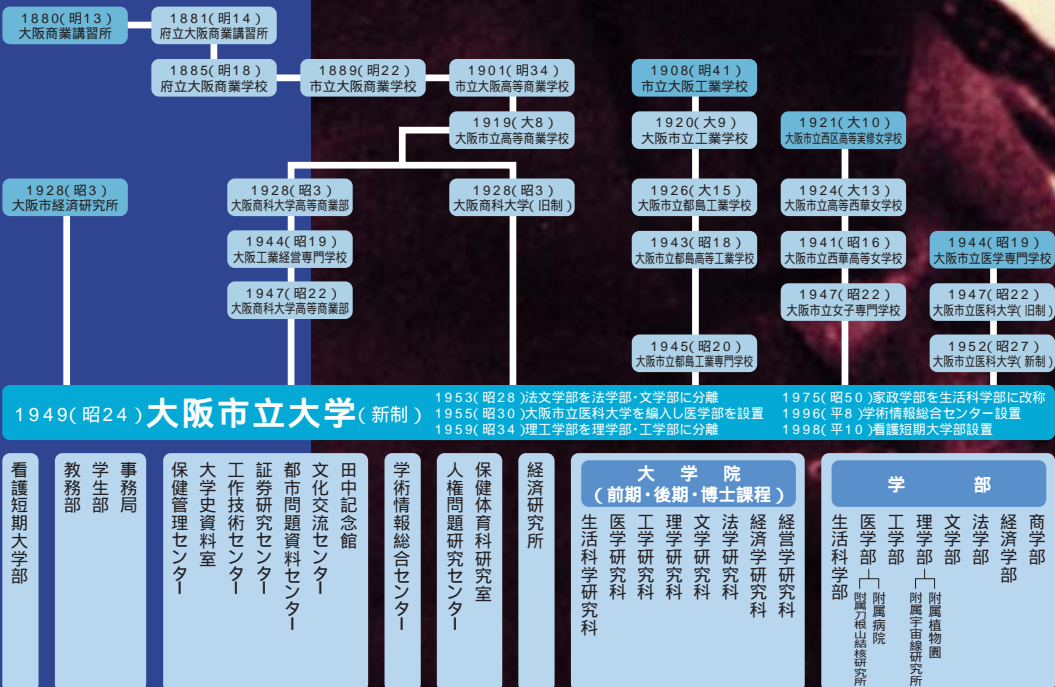


本学の歴史は、1880(明治13)年の大阪商業講習所の開所から数え
 ると、120年をこえます。本学の直接の前身校の一つである大阪商
 科大学は、大阪市民の期待を背景に、1928(昭和3)年、わが国で
 最初の市立の大学として創設されました。創設にあたり当時の大阪
 市長関一は、「国立大学の「コッピ」であつてはならぬ」と述べまし
 たが、これはいまま本学のモットーとなっています。戦後、新制大学制
 度のもとで本学は1949(昭和24)年、公立大学としては唯一、総合
 大学にふさわしい規模をもつ大学として誕生しました。本学の120
 年をこえる歩みは、わが国の公立大学の歴史を代表するものです。

「コッピ」ではない。



本学は大阪市立大学創設時から、恒藤恭初代学長の考えにもとづい
 て、「一般教養科目と専門科目教育の有機的結合を重視してきましたが、
 1994(平成6)年に新教育課程に移行し、この理念を一層明確にし
 た教育体系を確立しています。
 現在、本学がめざしている、「都市型総合大学」は、大都市の大学として
 21世紀に新たな役割を果たそうとする意思表明であり、本学の伝統の
 新たな発展とその集大成をめざすものです。



関一(せき はじめ)
 大阪商科大学創設時の大阪市長。
 公立大学の理念を確立した。